

参考資料

たこ 凧 作 り

山形市少年自然の家

1. 活動の概要

サービスセンター前の斜面や運動広場などで、凧あげを楽しむことができます。その凧も、自分で手づくりしたものだと、さらに楽しいでしょう。自分で創意工夫を加えながら、空高く舞い上がる逸品にしましょう。

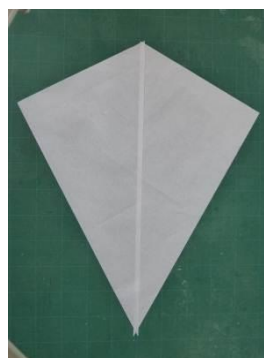
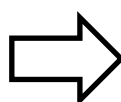
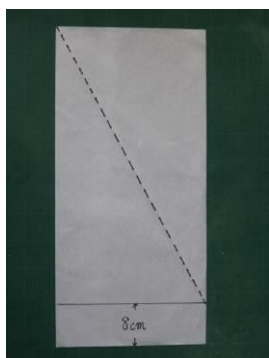
2. 活動場所 体育館、研修室など

3. 所要時間 2時間 ～ 3時間

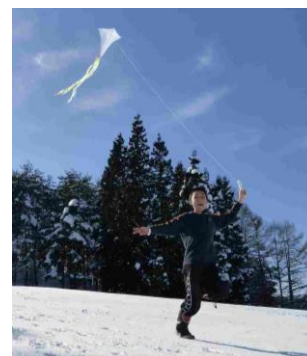
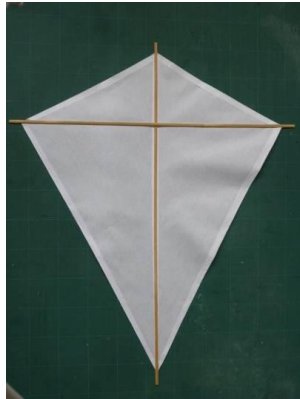
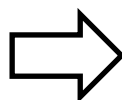
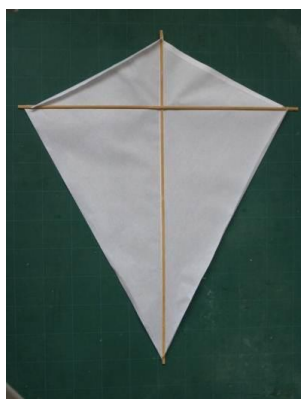
4. 準 備 《自然の家》道具；ハサミ、定規、カッター、工作板
《各 自》ボンド・のり・軍手
竹ひご…2本（約60cmのものと、約50cmのもの）
障子紙…28×60cmのもの1枚、
すずらんテープまたは、紙テープ、新聞紙など
凧糸…30cmを2本、70cmを1本、凧上げ用70m程度

5. 活動内容

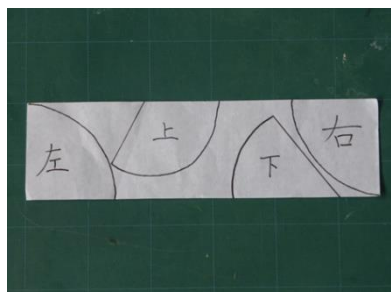
- ① 障子紙の下を8cmの長さで切る。その後、図のように対角線状に切り、対角線を逆に合わせてはり合わせる。



- ② 先にたて骨を、次に横骨をボンドではりつける。続いて、紙のへりを5～10mmほどおり曲げてのりではる。（補強のため）



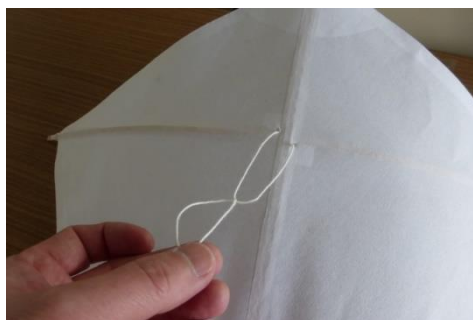
- ③ はじめに切ったあまり紙を、四すみのはしに合わせて切り、のりづけする。それから60cmの凧糸を、横骨のりょうはしに結ぶ。{飛ばす時に、風の強さによって横糸の張りを調節する}



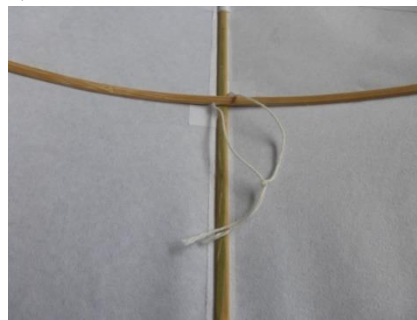
※風の強い日は、横糸を竹ひごにまきつけてそらせる。

- ④ 30cmの凧糸のまん中を輪に結ぶ。次に、凧骨（竹ひご）の交差位置にきりで穴をあけ、表から通した糸をうらで結ぶ。

<おもて>

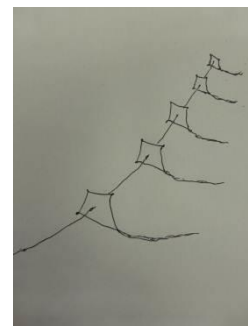
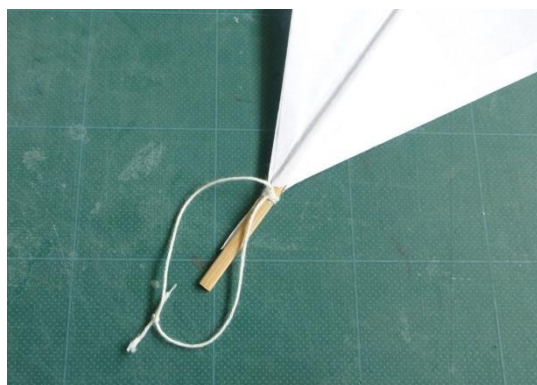


<うら>



- ⑤ 30cmの凧糸を、たて骨の下部に結び、輪をこれにつくる。その輪の中に、2mくらいのスズランテープ（紙テープや新聞紙でも可）を通し、輪にしてボンドではる。

- ⑥ これで、ダイヤ凧1個できあがり！これをつなげば、連凧になるよ。



みんなでつないで
楽しもう！

6. 実施上の注意点

※凧あげは、電線や障害物などがない広い空き地でしましょう。